

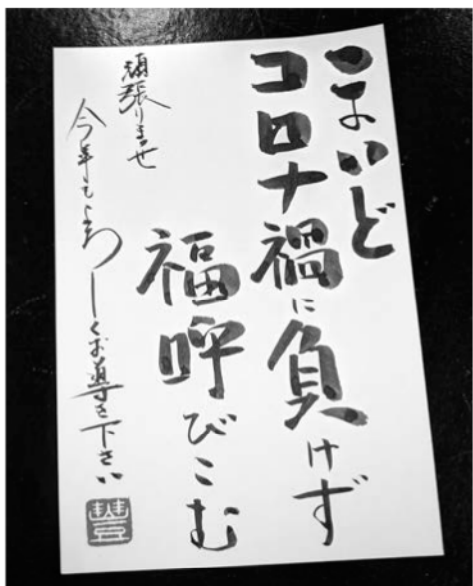
# 毎年賀状を一二〇〇枚書きます

あけましておめでとうございます。

昨年はコロナ禍でさんざんやったけど、テレワークやリモート会議など、いろんな工夫も出てきて、それなりに対応できるところになってきたんじゃないかと思っています。

感染者が一月からまた増えてきたのは気になりますが、ともかく三密避けて、ルール守って、コロナに負けないように、がんばらんとはいけませんなあ。

僕の年末は、毎年、一二〇〇枚の年賀状を書くことから始まります。



コロナ禍に負けず福呼びこむ」と大きく書いて、挨拶を添えるパターンが主です。

「福呼びこむ」か「福を呼びこむ」か迷ったんですが、「を」がない方がリズム的に見え、という人の方が多くて、そっちの文が多くなりました。でも、「を」も捨てがたい……。

送った方、まあ見てみてください。

「意外と言ってはなんですけど、青木さん字がきれいですねえ」と東京のおっちゃんが言ってます。

「いや、今ごろ気づいたんかな。これでも僕はお手本をいろいろ見ながら、苦労して書いてます。何気なくやってるように、見えないところで努力する。いわば、白鳥の水かきやね(笑い)。僕の書いた文を、印刷かどうか確かめようと、ハガキに水を垂らした人もいました。」

みなさん。年賀状を一二〇〇枚、それも一枚一枚書くこと知ったら、大変ですなあ、と言いますけど、わずかハガキ代六三円で、一年間の義理を欠いてるのを解消できるなら、ホンマありがたいもんです。

最近、年賀状の売り上げが減ってるそうですなあ。ジャンプの嵐が、ようテレビで、年末になると、年賀状の宣伝してますけど、僕、使った方がいいのと違いますか? 一二〇〇枚の

この一二〇〇枚は自慢やないけど、全部手書きです。相手先も、自分の住所も、当然、挨拶文もです。

今年、カットのようにならぬように「まいどこ



●(株)アオキ取締役会長  
**青木 豊彦** (あおき・とよひこ)



1945年大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。また東大阪の技術力を生かし人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。その後無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年4月、国立和歌山大学客員教授に就任。2016年には大阪市立大学学長特別顧問に就任。2020年、国立滋賀医科大学有識者会議委員に就任。(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事としても活躍中。

年賀状に心込めて書くシーン。ようありますやんか。陶芸家や画家が作品つくるシーンが、それみたいですよ(笑い)。

霞が関には、年賀状を色紙のように飾ってくれた人もいます。

そして年賀状は、自分のことばかり書くんでなく、読んで喜んでもらう年賀状を僕は目指しています。

**どんな商売でも  
よろこんでもらわないとだめです**

年賀状だけありません。

どんな商売でも、お客さんによるこんでもらわないとだめです。長続きしません。それには工夫が必要です。

ネットで面白い記事を目にしました。

「サイゼリアで一流シェフがバイト」というもんです。

この見出し見たとき、唾然としました。日本経済はここまで悪くなつてるのかと。

イタリアの有名料理店で修業して、日本でミシュランガイドの一つ星もらうような店のシェフが、チェーン店でバイトしている。優れた人材が、ここまで苦勞せにやあかんようになってくるのかと。

ところが、よく読んでみると、違うんですね。これが。

シェフの村山太一さんは、ふだんは、自分の店をやりくりして、週一回ぐらいサイゼリアにバイトに入るそうです。

それも、生活費稼ぎではありません。

むしろ、積極的にサイゼリアの戦略を学ぼうとして、バイトの一兵卒になりきってるんです。

**チェーン店のノウハウを  
一つ星レストランに応用する**

村山さんによれば、レストランのような飲食店は、大体、五年しか持たない。売り上げが伸びず、壁に突き当たるそうです。

ところがサイゼリアは、徹底的にマニュアル化してホールやキッチン規模、導線まで決まっている。食材も産直で調達して安価に提供できる等々。

こうしたことを、そのまま加工して自分のレストランに取り入れているそうです。

例えば、市場からでなく、産直で漁師さんから魚を取り寄せ。ただし料理の値段は今まで通りにして、その分、ワインの価格を下げて、お客さんにおいしいワインを安価で楽しんでもらう。

そういうやり方で、村山さんのレストランは、売り上げを伸ばしながら、従業員は少なくなり、労働時間も減り、給料を上げる、という改革ができたそうです。フレンチやイタリアンという、シェフ級をのぞいて薄給で修業、修業という感じが、そやなくて、しかも売り上げを伸ばす……。

日本もまだまだ捨てたもんやないですね。

チェーン店のノウハウを、一つ星レストランに応用する。頭が柔軟やないとできることありません。

僕等もがんばらにや。

(株)アオキも、飛行機ばかりやのう、今年新しい分野に取り組もうとしています。乞うご期待!